

ハラスメントに関するセルフチェックシート

セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントが許されないことは言うまでもありませんが、自分では気づかないうちに相手に不快な思いをさせてしまうことがあるかもしれません。

そのようなことを防止する意味で、もう一度自分自身を振り返ってチェックしてみましょう。

◎あなたは、次のようなことをていませんか？もし心当たりがあつたら直ちにやめましょう。

- 容貌・体型・年齢等について話題にする。
- 性的な「からかい」や冗談を言ったり、性的な噂を流したりする。
- 男女交際の程度や性的な経験などについて尋ねる。
- 「まだ結婚しないの？」「彼（彼女）はいないの？」などと執拗に聞く。
- 「女こども」「女々しい」などという差別的な言い方をする。
- 「男のくせに根性がない」とか「女には任せられない」などと言う。
- 部下や学生を「うちの子（男の子・女の子）」呼ばわりしたり、「おばさん（おじさん）」などと人格を認めないような呼び方をする。
- 女性（男性）だからということで特定の仕事を依頼する。
- 水着姿などのカレンダー等が職場に貼ってあることをそのまま見過ごす。
- 性的な内容の手紙やメールを送ったり電話をかけたりする。
- しつこく食事やデートに誘うなど交際を迫ったり、あとをつけるなどつきまとったりする。
- カラオケでのデュエットや酒席でのお酌などを強要する。
- マッサージなどと称して必要もないのに身体に触る。
- 「親しみを込めて」などと言ながら、肩や髪、背中などに触ったり、必要以上に接近しすぎる。
- 同性同士が仲のよいことをからかったり、性的指向について冗談を言ったりする。
- 性的な関係を迫る。

◎このようなことは、いずれもセクシュアルハラスメントにあたります。

また、次の点についてもチェックしてみてください。もし心当たりがあつたら直ちにやめましょう。

- 他の同僚や部下、学生等にも聞こえるように一方的に罵倒するなど言葉で威圧する。
- 「馬鹿に対する薬はない」などと学生や部下、同僚等の人格を否定するような発言をする。
- 立場を利用して、SNSのID、メールアドレスや電話番号を執拗に聞き出そうとする。
- 「どうなってもいいんだな」などと成績や処遇をちらつかせて従わせる。
- 必要な知識や情報を故意に知らせず、その知識や情報を持たない相手を自分に服従させる。
- 気に入らない人に対して、あいさつされても無視したり仲間はずれにしたりする。

◎このようなことは、いずれもパワーハラスメントにあたる可能性もある不適切な行為や態度です。

日頃から自身の言動を振り返り、ときには互いに注意しあったりして誰もが気持ちよく過ごせる大学にしましょう。

ハラスメント問題が発生すると、人間関係の悪化によって心身の不調を来たし、就労や修学意欲が低下するなど、個人の能力や組織のパフォーマンスを十分に發揮できないばかりか教育機関として信用を落とすことにつながっていきます。

長岡技術科学大学では、就業規則においてハラスメント行為を禁止するとともに、ハラスメント防止に関する規則を制定し、防止対策の推進やハラスメント行為があった場合の調査・認定を行うハラスメント対策委員会を設置しているほか、苦情相談窓口としてハラスメント相談員を置くなど、ハラスメント防止に努めています。

ハラスメント苦情や相談があった場合は、事実関係を迅速かつ正確に確認し、被害者及び行為者に対して適正に対処するとともに、再発防止に向けた措置を講じます。その際、相談者や行為者等のプライバシーを保護し、相談したことや事実関係の確認に協力したこと等を理由として不利益な取扱いをすることはありません。